

那須町教育大綱（案）に対するパブリックコメント（意見募集）の結果について

1. パブリックコメント実施状況

- (1) 募集期間 令和 8 年 1 月 16 日（金）～令和 8 年 2 月 9 日（月）
- (2) 提出者数 1 名
- (3) 提出意見数 1 件
- (4) 提出方法の内訳
 - メール : 0 件
 - 郵送 : 0 件
 - ファクシミリ : 0 件
 - 直接提出 : 1 件

2. 提出意見等の概要と町の考え方

No.	意見等の概要	町の考え方
1	<p>令和 7 年度（令和 7 年 9 月、2025 年）「教育委員会の点検・評価」によると「学校施設環境改善事業」で「課題」として学校施設の多くは昭和 40 年代から 50 年代に建設されており、改修を必要とする時期を迎えている。将来を担い子どもたちや地域住民が安心して利用できる学校施設の実現のため、施設の長寿命化に向けた計画的な改修が必要である」と述べています。その「内部評価は」「C」です。また「外部評価」も「C」であり、そこには「学校の体育館は避難所になりますし、積極的な改修をしていただく必要がある」とし、続けて「学校は地域の支えになっていると思う。計画的な予算確保と優先順位をつけて、修繕を進めていただきたい」と述べている。</p> <p>この事業では令和 4 年から 5 年にかけて小中学校特別教室エアコン改修工事などが実績として挙げられている。そして「今後の方向性」として「事業拡大」を求めている。</p> <p>地球温暖化による夏の時期の暑さは那須町民にとって、特に体力の点では配慮が必要なこども、高齢者にとって命の危険に関わる問題になってきています。</p> <p>その点で小中学校の体育館のエアコン、スポットクーラーなど空調設備が緊急に求められており、その整備はもっと急がれる事業と言えないでしょうか。</p> <p>これまでの町事業でも体育館の空調設備設置は度々議論に上がってきているのに、新しい「教育大綱（素案）令和 8 年 3 月改訂」では 3 ページで「老朽化する学校施設の計画的な整備や、安全安心な学習環境の整備の確保を進めます」と述べているだけで、それでは足りないと考えます。</p> <p>現在の環境においては、急速な温暖化による熱中症発症の予防策が急務になっています。</p> <p>このエアコン、空調設備の持つ、緊急性や、町事業における重大な事業の位置付けが必要であると考えますが、その位置づけが薄いではありませんか。</p> <p>また 4 ページにあるスポーツ施設の整備でも町スポーツセンターにエアコンがないという現実を直視して、対策を進めることが必要です。</p> <p>ぜひ検討願います。</p>	<p>このたびは、教育大綱（案）における学校施設、とりわけ体育館の空調設備等の環境整備に関する記載が十分でないとのご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>学校施設の環境改善、近年の猛暑等を踏まえた体育館空調設備の整備については、児童生徒の安全確保や教育活動の質の向上、さらには災害時の避難所機能の観点からも重要な課題であると認識しております。また、教育委員会による点検・評価において、学校施設環境改善事業が「C 評価」となっていることについても、真摯に受け止めております。</p> <p>一方で、体育館空調設備をはじめとする施設整備は、教育委員会のみで方針決定できるものではなく、町全体の財政状況や公共施設の整備方針、優先順位、他分野との調整を含め、総合的かつ計画的に検討すべき事項であるため、教育大綱の中では個別具体の施設整備事業として明記しておりません。</p> <p>今後は、教育環境の改善に向けた重要課題として、町全体の施策の中で計画的に検討を進め、必要な対応を図ってまいります。</p>